

蕪 工 ニュース

県立蕪崎工業高等学校
第167号

総務部
2017.10.25

第55回蕪工祭開催

第2回学校説明会が実施

今年も快走エコカー部

愛媛国体の結果・保育体験実習始まる

第55回蕪工祭が雨の中行われる

10月13日(金)14日(土)、第55回蕪工祭が開催されました。生徒会によるオープニングセレモニーと開祭宣言に続き、全国大会県代表の太鼓部と東日本大会県代表の吹奏楽部の演奏が披露され会場を魅了しました。3年生のパフォーマンス・ステージはバラエティに富んだ内容で、会場は大いに盛り上がりました。昼食は、保護者の方々が朝早くから準備して下さったお餅が配られ、皆でおいしくいただきました。午後からは雨のため体育館で体育部門を行いました。大変な熱気と盛り上がりでした。



2日目は、1, 2年生のパフォーマンス・ステージに続き、クラス課題製作レースが行われました。課題は、「自立型三輪車」を作り上げ、蕪工祭一番の目玉でもあるレースをします。工業高校生としての誇りと情熱を持つ

て三輪車製作に試行錯誤を重ね、迎えたレース本番では、クラスの枠を超えての声援が響き渡りました。また、校内での展示も見応えのあるものでした。地域の方々や中高生など、いろいろな方との交流ができたほか、各クラスの模擬店、同窓会による迫力あるクレーン車の展示、授産施設特製のクッキーとパンの販売など、大盛況の中終了しました。最後に、ステージの音響と照明を2年の松本翔月君と佐藤大悟君が設営をしてくれ、陰の大きな功労者となりました。生徒、先生方、保護者等多くの方々の協力があり、無事終了することができました。



平成29年度 学校説明会実施(中学生・保護者対象)

10月21日(土)、本校で『中学生・保護者対象の学校説明会』を開催しました。今回も中学生



89名・保護者73名・教員1名(合計163名)で、昨年度の参加者数(合計111名)を大きく上回る非常に多くの参加者数となりました。まず、『6学科の授業見学』ならびに『施設・設備の見学』を実施しました。さらに、『学校説明会』では、本校の『教育システムの特徴』や『カリキュラム・資格取得等』の説明、今年度の『進路状況』、さらには間近に迫った『高校入試(前期入試)』の説明などが行われ、参加した中学生・保護者がメモを取りながら真剣に聞き入っていました。

今回の学校説明会が、参加していただいた中学生の進路決定の参考になれば幸いです。今年度の高校入試においても、多くの中学生が本校を希望してくれることを期待しています。

ツインリンクもてぎを快走エコカー部

9月30日(土)・10月1日(日)にホンダエコノパワー燃費競技全国大会が行われました。

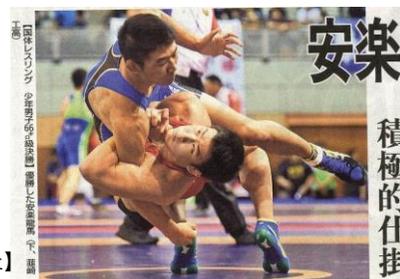
例年約 1500 人が参加し、海外からも遠征に来る大きな大会ですが、今年は本校が開会式での選



手宣誓をすることになり、部長の伊藤元一君が本田技研工業株式会社・社長の前で堂々と宣誓をしました。当日は好天に恵まれたため、朝と昼の気温差が大きく燃費競技には厳しい条件の中、部活の車両は本校で4回目の 1 リットル当たり 1000km 超えの記録(1045km/l・19 位/高校生クラス 138 チーム中)を出す事が出来ました。高校生クラスは毎年レベルが高く、この記録は大学生クラスだったら 10 位・一般クラスだったら 16 位の記録です。課題研究の授業で作成している車両も 904km/l・23 位で昨年より記録を伸ばす事が出来ました。今年は車体の剛性向上とキャブセッティングを中心に作業しましたが、来年は更に記録を伸ばせる様に取り組んで行きたいと思います。

レスリング部国体出場・国体初優勝の安楽君

10月7日(土)から10日(火)まで、愛媛県宇和島市・宇和島総合体育館で国民体育大会が行われ、本校からはフリースタイル 60Kg 級に矢部晴翔君、グレコローマンスタイル 55Kg に稲葉海人君、66kg 級に安楽龍馬君、84kg 級に古川裕貴君の4名が出場しました。今大会は 60kg 級矢部、84kg 級古川君が2回戦で第1シードの選手と対戦する厳しい組み合わせとなりました。しかし2名とも善戦し、会場を沸かせる場面もありましたが惜しくも2回戦で敗退となりました。55Kg 稲葉君は昨年続く連覇が期待されましたが、決勝戦は地元・愛媛県の選手との対戦で会場の雰囲気呑まれ、思うような力が発揮できず、準優勝という結果でした。66kg 級安楽君は全試合テクニカルフォール勝ちと危なげない試合運びで悲願の国体初優勝となりました。今回の国体も含め、葦崎工業レスリング部は7年連続で全国チャンピオンを輩出する事が出来ました。来年以降も後輩達がこの伝統を引き継いでいくことを期待したいです。



保育体験実習が行われる

【写真提供：山梨日日新聞社】

10月17日(火)から26日(木)まで、1年生全クラスの生徒が保育体験実習を実施しました。この実習は、葦崎愛生幼稚園児と直接触れ合う体験を通じ、子どもをいとおしく思う気持ちや生命の尊さを理解し、将来、親となる自覚を促すことを目的としています。すでに、同園卒園生も本校に入学しており地域に根付いた交流となっています。今年も年少児組に2歳児(9名)が加わり、年中組、年長組の園児たちと、クラスごとに計画した遊び(ペアになってのゲーム遊び)や、おやつタイムでの名札交換、生徒による紙芝居の発表、図書室での本の読み聞かせによる交流を行いました。また、3年「発展家庭」履修生徒が製作した「創作折り紙」のプレゼントも行いました。このふれあい活動を通じ、子どもの目線に合った生徒のかかわりが随所にみられました。そして、多感な思春期に、自分自身を振り返ったり見つめ直したりする良い機会となったことと思います。



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp